

みんなで取り組もう！

工口通勤

福島市中心部渋滞対策



1. “工コ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の実施背景

(1) 緊急事態宣言期間（R2年4～5月）の人流・交通量の整理

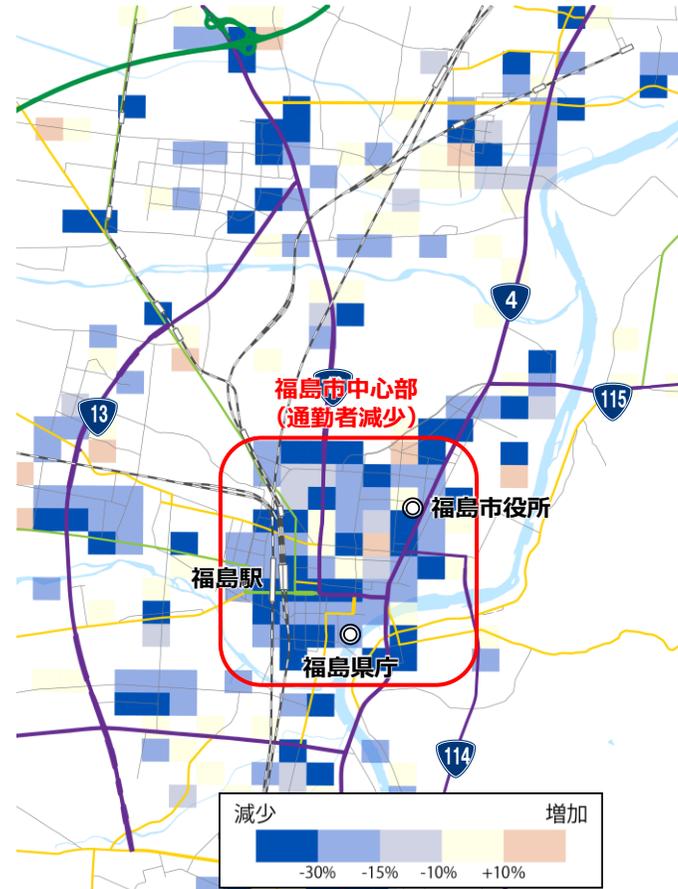
● 緊急事態宣言発令に伴う各社・各団体の在宅勤務等の取り組みにより、福島駅や県庁、福島市役所周辺の**通勤移動が減少し、交通量も減少**。

▼ 従業人口分布（500mメッシュ）



出典：経済センサス基礎調査（H26）

▼ 通勤時間帯(7～10時台)の通勤者数※1の増減率
(R2.4月緊急事態宣言期間前・期間中※2の比較)



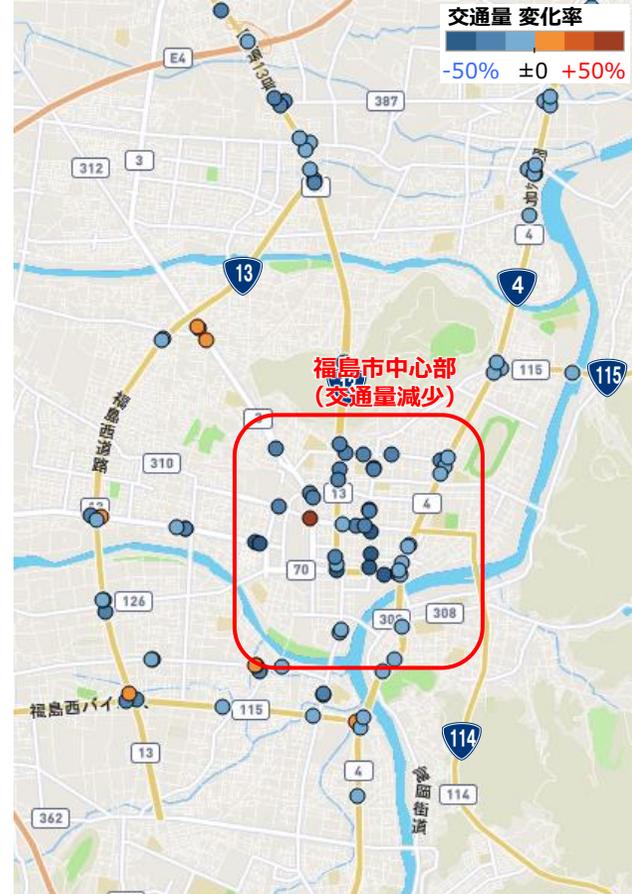
※1 通勤者数とは、平日7時から10時台の通勤時間帯に移動したユーザーをカウント

地図上では、250mメッシュ内に到着したユーザー数の増減率を表現

出典：プログウォッチャー社「プロファイルパスポート」R2.4

※2 緊急事態宣言期間前：R2.4.1～16（うち平日）
緊急事態宣言期間中：R2.4.17～30（うち平日）

▼ 通勤時間帯(7～10時台)の交通量の変化率
(R2.4月緊急事態宣言期間前・期間中※2の比較)

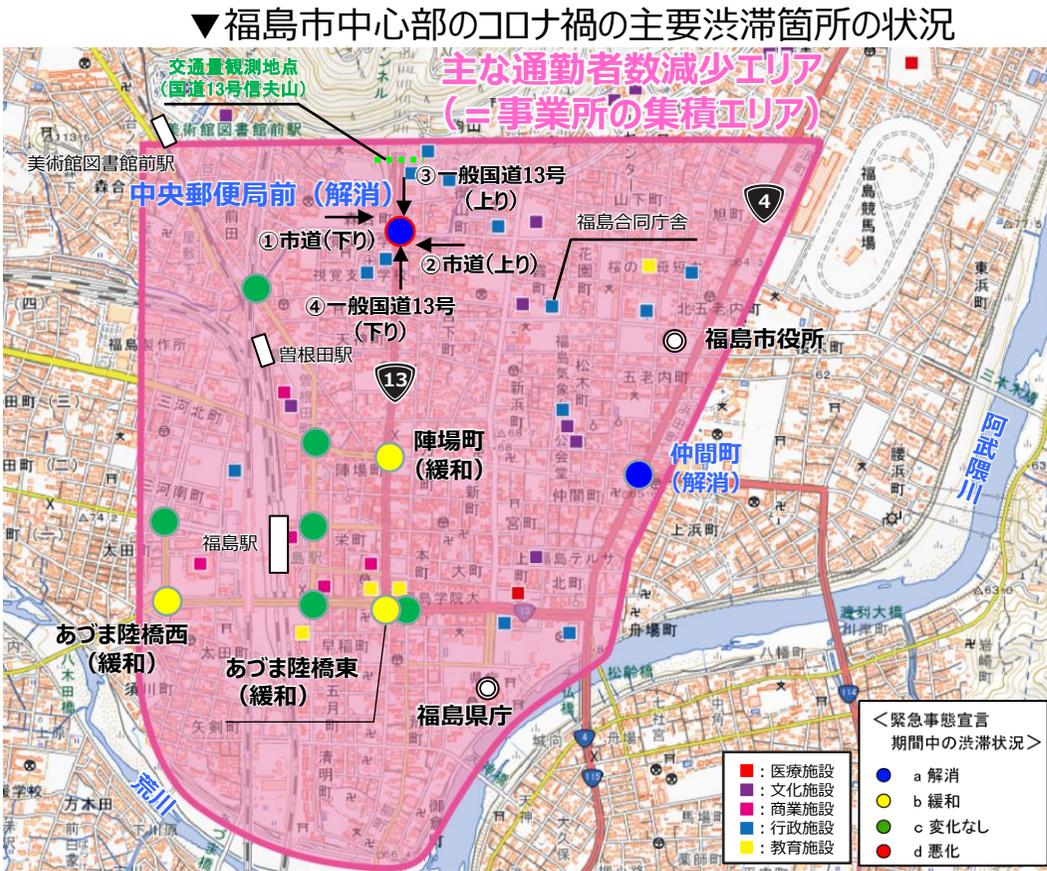


出典：「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター)
(<https://www.jartic.or.jp/service/opendata/>)を加工して作成
緊急事態宣言期間前：R2.4.1～5 平日（7～10時台）
緊急事態宣言期間中：R2.4.17～30 平日（7～10時台）

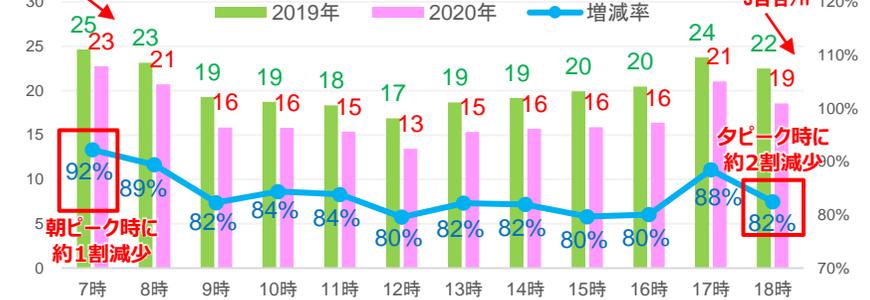
1. “工コ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の実施背景

(2) 緊急事態宣言期間（R2年4～5月）の渋滞状況の整理

◆福島市中心部の北端に位置する主要渋滞箇所「中央郵便局前交差点」では、緊急事態宣言期間中の通勤時間帯の交通量が2～3百台(約1～2割)減少することで、4～8km/hの旅行速度が向上。旅行速度が20km/hを上回り渋滞解消の効果を確認。

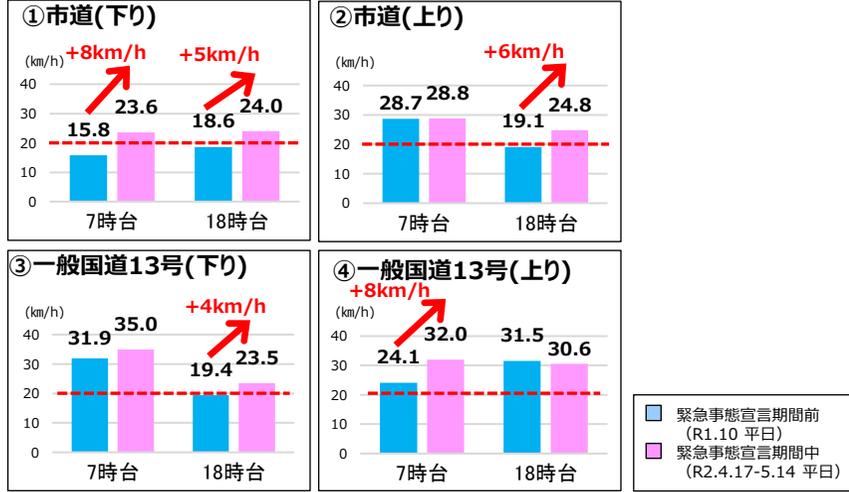


▼コロナ禍における国道13号信夫山の交通量の変化 (上下合計)



出典：常観トラフィックカウンターデータ 2019年：2019/4/17～2019/5/14平日
2020年：2020/4/17～2020/5/14平日 (緊急事態宣言期間中)
(国道13号信夫山)

▼中央郵便局前交差点の旅行速度の変化



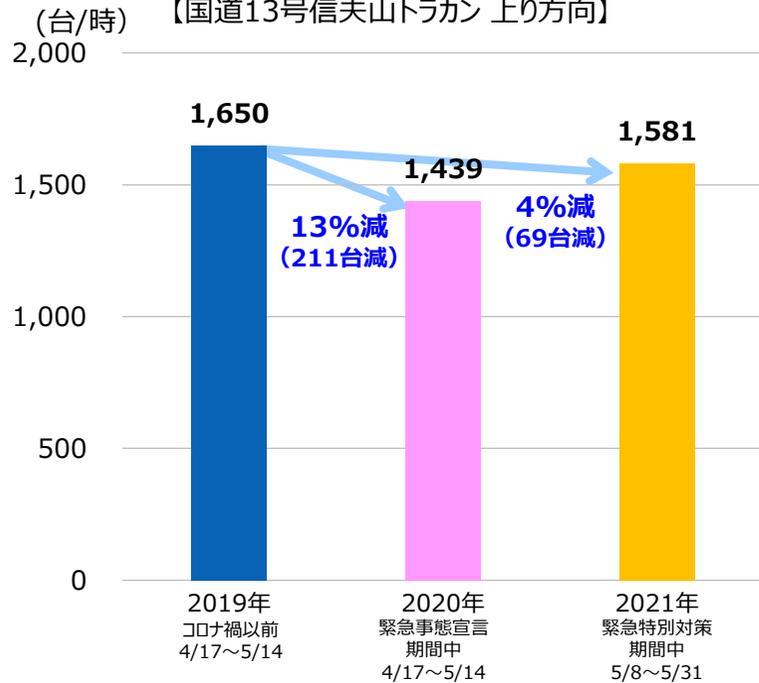
出典：ETC2.0データ R1：R1.10月平日 緊急事態宣言期間中：2020/4/17～2020/5/14平日

1. “工コ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の実施背景

(3) 最新の交通量、旅行速度の状況

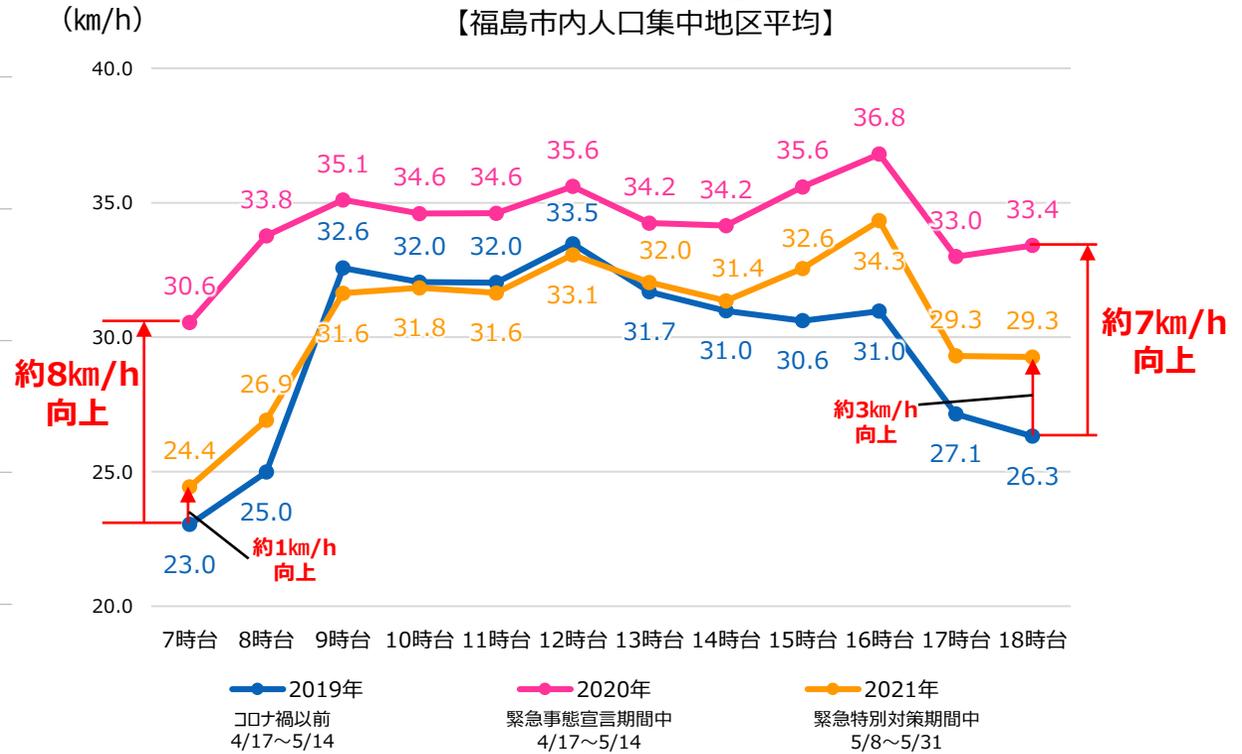
- ◆ 緊急事態宣言期間中の交通量は大きく減少したものの、令和3年5月の緊急特別対策期間中の交通量の減少幅は小さい。
(朝ピーク時間帯の旅行速度についても、交通量と同傾向)
- ◆ **最新の交通量、旅行速度は、コロナ禍以前の状況に近づきつつある。**

▼平日7時台の交通量の推移
【国道13号信夫山トラカン 上り方向】



出典：トラカンデータ ※平日7時台データを集計

▼平日7時台の旅行速度の推移
【福島市内人口集中地区平均】



出典：ETC2.0データ

1. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の実施背景

(3) エコ通勤施策検討に関するアンケート調査の実施

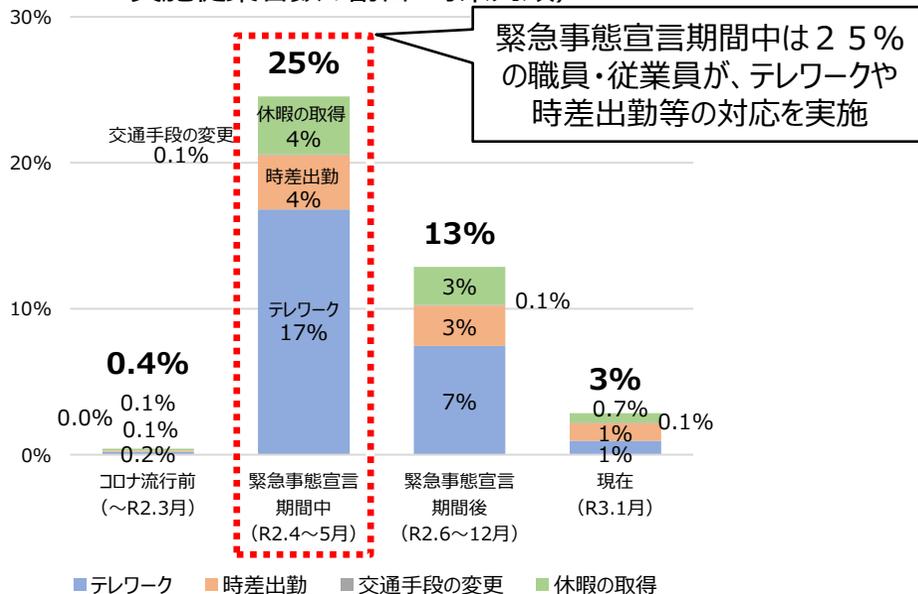
- ◆ 緊急事態宣言期間中に福島市中心部の企業・行政施設35団体を対象に、アンケート調査を実施。
- 新型コロナウイルスの流行に対する個別の取り組みについて、緊急事態宣言期間中は、テレワーク17%、時差出勤4%の実施率であった。
- 今後の施策についての協力可能性を聞いたところ、**約6割の団体(約8割の職員)**より協力可能性があると回答を得られた。

〈アンケートの概要〉

- 配布数：35団体（福島市中心部に立地する企業・行政施設）
- 回答数：29団体（回答いただいた企業・団体の職員数：6,504人） ● 回収率：83%
- アンケート実施期間：R3.1.15～2.4

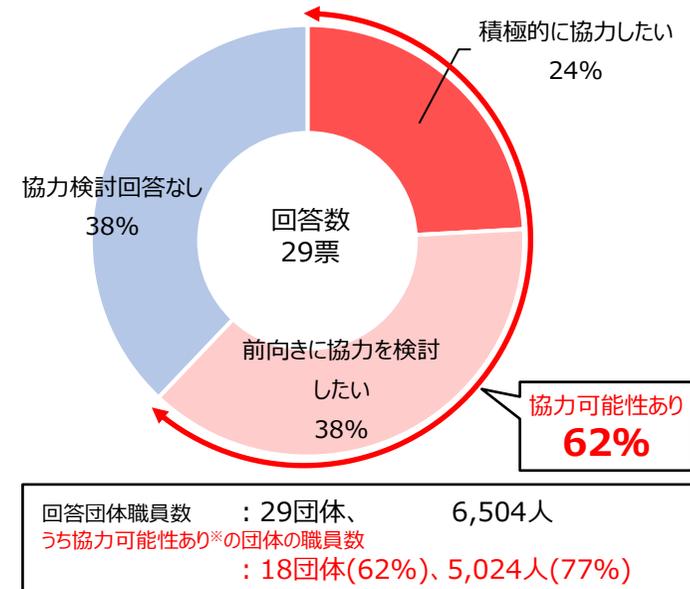
▼ 緊急事態宣言期間中の取り組み実施状況について

(回答事業所全体の従業者数のうち、取り組み実施従業者数の割合・時系列順)



▼ 自動車利用削減実施施策への協力可能性について

※4つの施策案(テレワーク、時差出勤、公共交通の利用促進、徒歩・自転車通勤の推奨)のうち1つでも回答があった団体の割合(重複を除く)



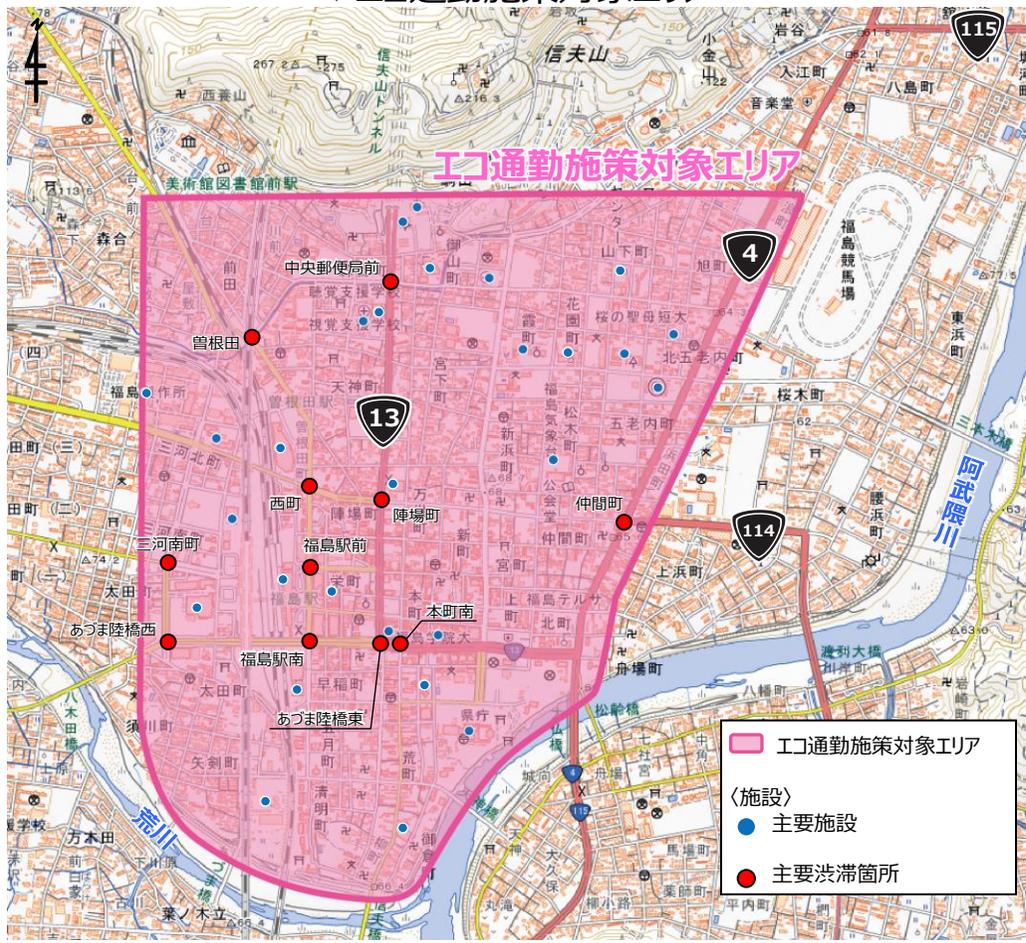
出典：新型コロナウイルス流行による通勤状況への影響に関するアンケート調査（R3.1月実施）

2. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の取り組みについて

(1) エコ通勤施策対象エリア・エコ通勤施策実施内容

●今年度進めるエコ通勤施策の対象エリア、施策の実施内容は以下の通りとする。

▼エコ通勤施策対象エリア



出典：地理院地図に主要渋滞箇所等を追記して掲載

<エコ通勤施策対象エリア>

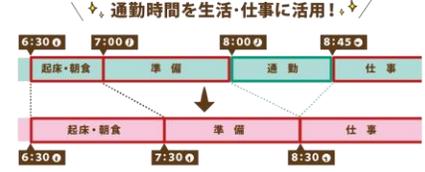
●通勤者数および交通量の減少が見られた福島市中心部（左記エリア）を「**エコ通勤施策対象エリア**」と位置づける。

<エコ通勤施策実施内容>

- 左記エリアを対象に、「在宅勤務」や「時差出勤」、「公共交通の利用促進」、「徒歩・自転車通勤の推奨」等の実施について協力依頼・PR活動を行う。
- エリア内の団体には簡易アンケートを実施し、エコ通勤施策への協力状況について確認を行う。

在宅勤務

●通勤時間を生活・仕事に活用でき、忙しい朝の時間帯を有効に使えます。



時差出勤

●ピーク時の通勤を避けることで、通勤にかかる時間を大きく短縮できます。



公共交通の利用促進

- 朝ピーク時間は車よりも鉄道が速達性・定時性に優れます。
- 市内の路線バスはバスロケーションシステムを導入し、バスの到着時間がわかるようになり、利便性が向上しています。
- 公共交通の利用はCO2排出量の削減につながり、環境にやさしいメリットもあります。



※福島交通能登線若代清水駅→福島駅間を対象に所要時間を算出
【出典】福島交通能登線時刻表（R1.10時点）
ETC2.0プローブデータ（R1.10平日7:30～8:30）

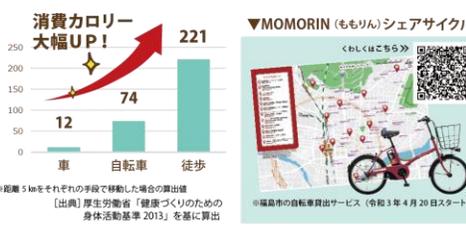
（参考）バスロケーションシステム

福島交通（株）

ジェイアールバス東北（株）

徒歩・自転車通勤の推奨

- 車通勤に比べて徒歩や自転車は消費カロリーも大きく*、健康増進につながります。
- 市内では自転車貸出(MOMORINシェアサイクル)のサービスを始めています。



2. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の取り組みについて

(2) TDM施策の実施による渋滞緩和・環境改善の目標

- 福島市では、「SDGs 未来都市」への選定、「ゼロカーボンシティ」の宣言など、都市環境改善に関する取り組みを進めている。
- “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”は、これらの環境改善の取組に大きく寄与する取組である。

▼福島市の都市環境改善に関する取組

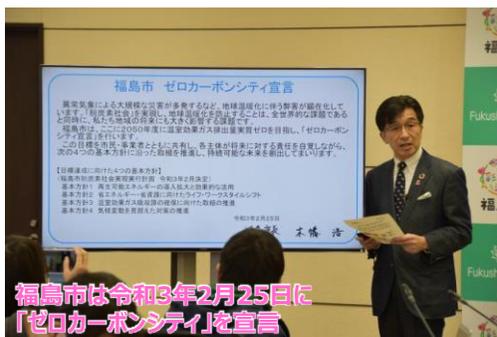
<参考：福島市脱炭素社会実現実行計画（R3.2月）より抜粋>

基本方針2 省エネルギー・省資源に向けたライフ・ワークスタイルシフト

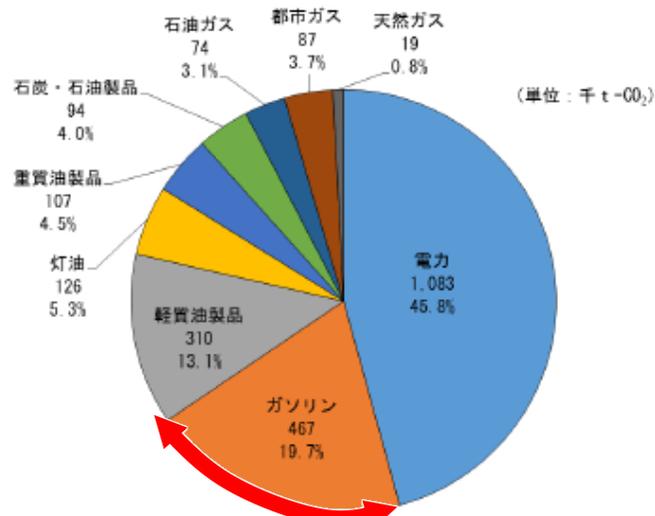
1) 基本施策：交通・移動に関するシフト

(1) 施策：自動車の利用を減らす取組

削減対象分野	運輸部門												
施策の目的	運輸部門は、本市の部門別温室効果ガス排出量の中で最も排出割合が高く、また排出量としても近年増加傾向にあることから、重点的に取り組む必要がある部門です。対策としては、各主体が個別に自動車を使用しなくても不自由の無い環境を整備する必要があり、そのための施策を推進します。また、人口減少等が進む中で、近年減少傾向にある公共交通機関利用者の維持も図る必要があります。												
取組内容 (主体別)	<p>○公共交通機関や自転車、徒歩による移動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーデー等の取組を通じ、公共交通機関や自転車、徒歩による通勤・通学を広く普及させます。(市民・事業者・市) ・公共交通機関の利用を促進するため、鉄道やバス会社など関係機関と連携を図り、機能の強化・充実を総合的に検討します。(事業者・市) ・市街地において、レンタサイクル事業等により、自転車利用を推進します。(市民・事業者・市) <p>○自転車、徒歩の利用を促すまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人、自転車が利用しやすい道路環境(歩道や自転車通行レーン)の整備に努めます。(市) ・中心市街地や各地域の拠点地区等への居住や都市の生活を支える機能の適切な誘導と充実を図り、コンパクトなまちづくりを進めます。(市民・事業者・市) <p>○新しい働き方による自動車利用の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークやテレビ会議等、ICT(情報通信技術)を活用した働き方の導入を進め、業務における自動車利用の機会を減らします。(市民・事業者・市) 												
環境面以外の効果 (経済面・社会面等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン等の燃料購入コストの負担軽減が期待されます。 ・自転車、徒歩による移動の機会の増加による、運動不足の解消、健康面への効果が期待されます。 ・コンパクトなまちづくりにより、人口減少、高齢化にも対応した生活環境の整備が期待されます。 ・ICTを活用した働き方による、交通渋滞の緩和や感染症等のリスク軽減の効果が期待されます。 												
連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーデーの実施にあたり、関係商工団体との連携を図ります。 ・鉄道会社やバス会社と連携した取組を進めます。 												
目標(指標)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準年度値 (平成25年度)</th> <th>現状値 (令和元年度)</th> <th>目標値 (令和12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鉄道乗車人員数</td> <td>3,957千人</td> <td>3,808千人</td> <td>3,800千人</td> </tr> <tr> <td>・路線バス乗車人員数</td> <td>5,412千人</td> <td>5,098千人</td> <td>5,000千人</td> </tr> </tbody> </table>		基準年度値 (平成25年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)	・鉄道乗車人員数	3,957千人	3,808千人	3,800千人	・路線バス乗車人員数	5,412千人	5,098千人	5,000千人
	基準年度値 (平成25年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)										
・鉄道乗車人員数	3,957千人	3,808千人	3,800千人										
・路線バス乗車人員数	5,412千人	5,098千人	5,000千人										



▼福島市における燃料種別CO2排出量（平成29年度）



福島市のCO2排出量のうち、ガソリンが約2割を占める

出典：福島市脱炭素社会実現実行計画（R3.2月）より抜粋

2. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の取り組みについて

(2) エコ通勤施策の実施による渋滞緩和・環境改善の目標

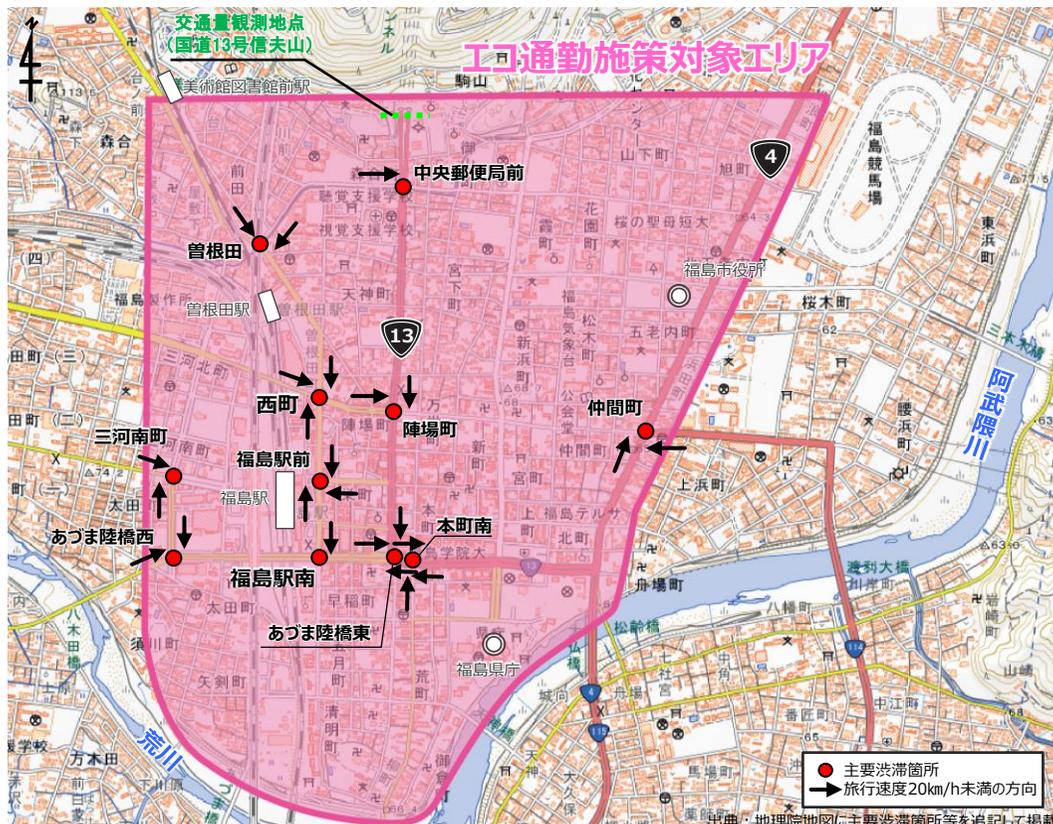
- “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の実施により、以下の効果発現を目標とする。

エコ通勤施策の目標

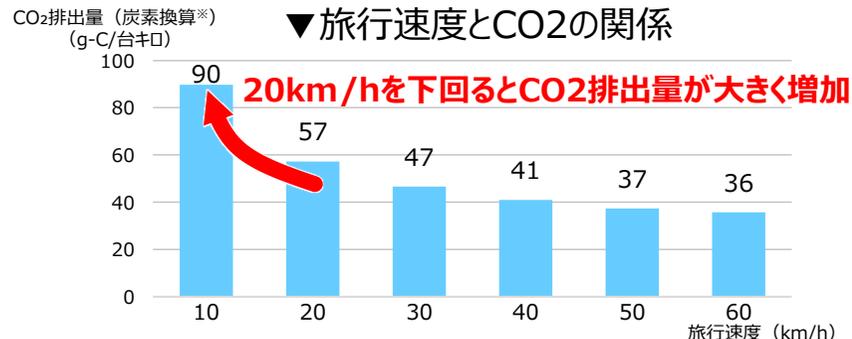
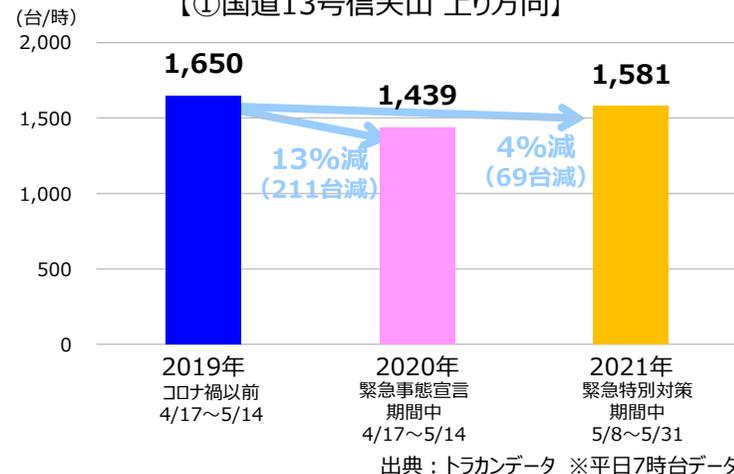
- ① 主要渋滞箇所（エリア内11箇所）におけるピーク時の旅行速度を20km/h以上に向上させる
- ② 緊急事態宣言期間中のピーク時の交通量まで削減する（国道13号信夫山では13%の交通量減）

⇒ 渋滞緩和により、都市の交通環境の改善、CO2排出量削減による都市環境の改善効果が期待される。

▼ 福島市中心部のコロナ禍以前の主要渋滞箇所の状況
（朝7時台20km/h未満方向の表示）



▼ 緊急事態宣言期間中の平日7時台の交通量
【①国道13号信夫山 上り方向】



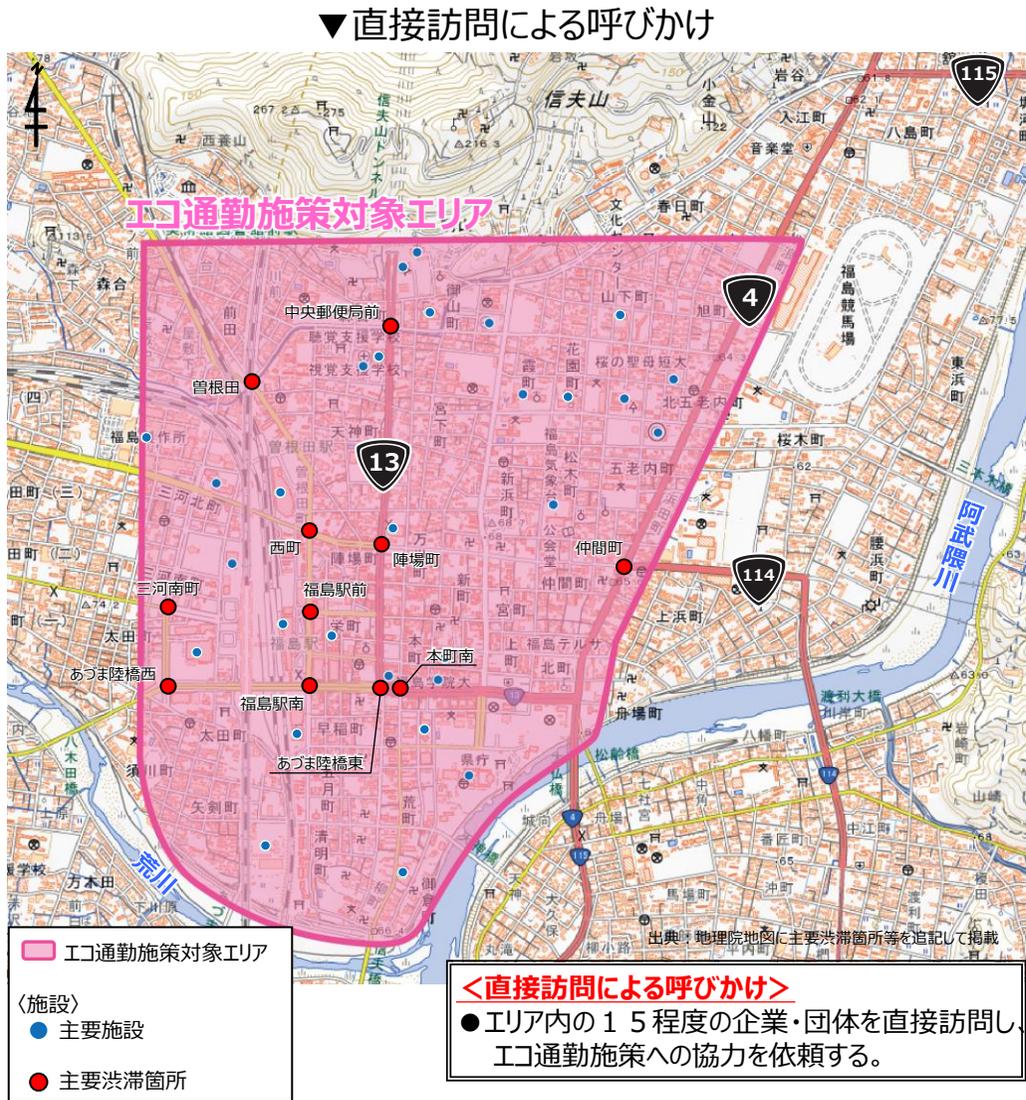
出典：国土技術政策総合研究所資料 第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）」
※小型車の排出原単位を炭素換算して算出

2. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の取り組みについて

(3) エコ通勤施策実施方法

- エコ通勤施策の対象エリア内の企業・団体や福島市全域を対象に、「エコ通勤への協力依頼」を行う。
- 協力依頼については、「**直接訪問による呼びかけ**」、「**チラシ・ポスターの作成・配布**」、「**H PやS N Sへの情報掲載**」を実施する。

▼チラシの作成・配布



みんなで取り組もう！

エコ通勤

福島市中心部渋滞対策

実施日
令和3年10月4日～29日の
月曜日・金曜日

10月10日

渋滞緩和・環境改善に繋がる取組への参加のお願いです

福島県渋滞対策連絡協議会では令和3年10月4日～29日の毎月月曜日・金曜日エコ通勤実施日とさせていただきます。福島市中心部の車流量を減らすため、以下の取り組みにご協力をお願いします。

在宅勤務

会社に勤務する自宅などで勤務を行うなど、渋滞緩和にご協力をお願いします。

時差出勤

出勤時間をずらして通勤ラッシュを回避しましょう。

公共交通の利用促進

マイカーから公共交通機関（鉄道・バス）の利用へ転換してご協力をお願いします。

徒歩・自転車通勤の推奨

天気の良い日は徒歩や自転車で通勤してみませんか？
清々しい気分が1日スタートします。

福島県渋滞対策連絡協議会 東北地区ワーキンググループ
事務局：福島県庁第二階 福島市中部道路計画課 政策推進課 政策推進室 福島県庁東部交通対策課

福島市の渋滞状況

福島市中心部は渋滞が多いんだ

エコ通勤にはこんないいところがあるよ

エコ通勤のいいところ

在宅勤務

通勤時間や生活・仕事に活用でき、忙しい朝の時間を有効に活用できます。

通勤時間削減→生活・仕事に活用！

時差出勤

通勤ラッシュを回避することで、通勤にかかる時間を大きく短縮できます。

通勤時間削減→通勤時間短縮！

公共交通の利用促進

通勤に公共交通機関を利用することで、環境にも優しく、通勤にかかる時間を短縮できます。

通勤時間削減→通勤時間短縮！

徒歩・自転車通勤の推奨

通勤に徒歩や自転車を利用することで、通勤にかかる時間を短縮できます。

通勤時間削減→通勤時間短縮！

実施日 令和3年10月4日～29日の月曜日・金曜日
エコ通勤対象エリア内企業・団体のみなさまにご協力をお願いします！
エコ通勤の取り組みを推進するための取り組みをお願いします。

<チラシの配布>

- 福島市市政だより（10月1日号）にチラシを差し込み、全世帯配布（配布数：107,000部）

▼広報の実施（案）

項目	方法
チラシ配布	・市報だより（福島市）に入れ込み全戸配布
ポスター掲示	・行政機関、交通拠点等に掲示を依頼 ・直接訪問の協力依頼を行う企業・団体に対して配布
H PやS N Sへの情報掲載	・関係機関H PやS N Sを活用し、チラシ等を掲載（バナーを準備し、県・市のH Pに掲載）

2. “エコ通勤（福島市中心部渋滞対策）”の取り組みについて

（4）エコ通勤施策実施期間

- 令和3年10月4日（月）～同年10月29日（金）の4週間のうち、毎週月曜日、金曜日を「エコ通勤実施日」とする。
- 「直接訪問による呼びかけ」を行った企業・団体を対象に、週1回の簡易アンケートを行い、エコ通勤への協力状況について把握する。
- 交通量、旅行速度の変化については、毎日最新データを整理し、最新の交通状況を把握する。

10月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24 31	25	26	27	28	29	30	

 : エコ通勤実施日

 : 簡易アンケート票の配布